

# 漁船海難月報 令和元年8月号

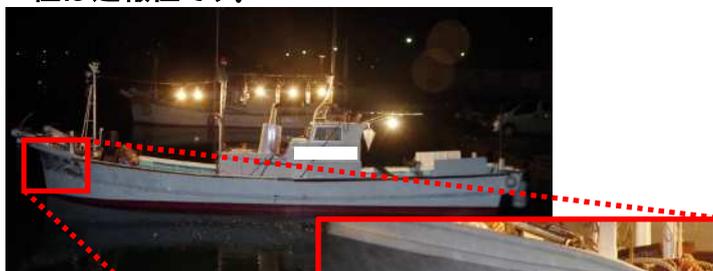
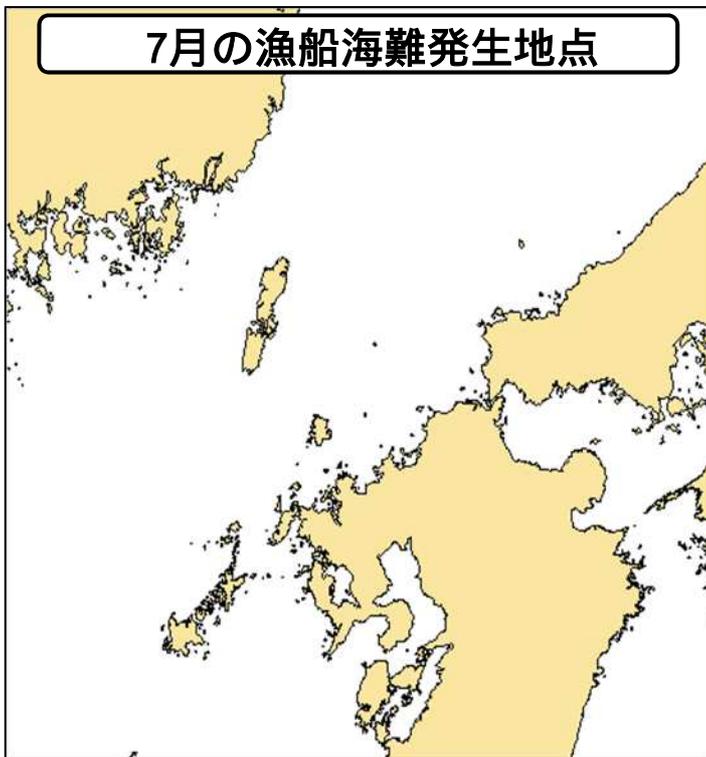
第七管区海上保安本部  
交通部安全対策課 発行

令和元年7月  
七管内漁船海難 計15隻

令和元年7月累計71隻(前年50隻)  
漁船海難発生件数が前年に比べ**21隻増加!!**

漁船海難隻数 (速報値)		県別内訳	
		7月	R1累計
衝突	6	山口県 3	10
乗揚	2	福岡県 3	14
浸水	1	佐賀県 1	6
運航不能 (機関故障)	3	長崎県 7	34
運航不能 (有人漂流)	2	大分県 1	7
運航不能 (無人漂流)	1	合計	15隻
合計 15 隻 (前年 10 隻)			71隻 (前年50隻)

県別内訳表は、各県に所在する海上保安部署の担当海域にて発生した海難の合計数を示しています。数値は速報値です。



## < 事故事例 (見張り不十分) >

A丸は、夜間霧雨の中を自動操舵にて漁場向け航行中、錨泊中であつたB丸に気付かずに衝突した。A丸の左舷船首部に破口が生じ、B丸は右舷船尾部に設置されていたガイドローラーが破損した。負傷者及び油の流出はありませんでした。

## 航海計器の活用を!

目視だけでは十分な見張りができないおそれがあります。自動操舵使用中こそレーダー等を活用して十分な見張りをしましょう。

## 錨泊中も油断せず!

錨泊中でも適切な見張りを行い、接近船の回避動作が確認できなければ、早期に避航しましょう。

